

SHIRATAKA RED

真っ赤でおいしくなるように
りんご摘果作業体験

6月15日、鮎貝小学校の3年生26人が学校近くのりんご畑でりんごの摘果作業を体験しました。

ほぼ全員が摘果作業をするのは初めてということでしたが、摘果をする理由とやり方を教わった児童たちは、実の大きさを見極めながら手際よく作業を行いました。また、摘み取った小さな実をかじってみた児童は「しぶい」と顔をしかめていました。

児童たちは今後、りんごに真っ赤な色がつくように9月に葉摘み体験行い、11月においしいりんごを収穫する予定です。

花を植えて笑顔満開
保育園で植栽活動

町土地改良区の主催による花の植栽活動が、6月10日にさくらの保育園で、6月16日にひがしね保育園で行われました。

ひがしね保育園では、年長児23人と年中児21人が、自分の名前が書かれたシールをプランターに張り、一人3株ずつのマリーゴールドを優しくていねいに植えました。園児たちからは「楽しかった!」「またお花を植えたい!」と感想が聞かれ、これから毎日欠かさず花に水をあげることを、土地改良区の皆さんと約束しました。

第4回白鷹・栃尾友好グラウンドゴルフ交歓大会
地域を越えたつながりをいつまでも

白鷹町と姉妹都市の新潟県栃尾地区が交流を深め、発展に寄与することを目的としたグラウンドゴルフ大会は6月4日、栃尾おりなす芝広場で開催されました。

この日は白鷹町から16人、総勢104人が参加。競技中は「ナイスイン!」「おいしい!」などと声が飛び交い、参加者は和やかな雰囲気の中で交流を楽しみました。また、競技後の懇親会では互いの健闘をたたえ合うとともに、最後に「1年後にまた会いましょう」と全員で「栃尾音頭」を踊り、有意義な交歓の場を締めくくりました。

